

2024年西豪州日本人会忘年会での乾杯の挨拶

乾杯にあたりひとことご挨拶を申し上げます。

今年を振り返り、様々なことがありましたが、西豪州の総督とパース市長が訪日し、日豪経済会議が来年10月5－7日にパースで開催されることが正式に発表されました。名古屋会合ではドーソン西豪州総督との面談等で、日本企業の皆様に大変お世話になりました。

今年ANAパース・成田直行便も5ヶ月のお休みを経た上での再開となりました。そして、先ほど馬淵ANA支店長より皆様に一斉連絡が入ったと承知しますが、来年3月末以降の夏季ダイヤのパース・成田直行便の本日から開始され、通年運航が本物となりました。

これは当地日本人社会にとり生活の質を変える画期的な進展であり、貿易投資、政府間関係にも間違いなく良い影響がおよぶ進展です。馬淵さん本当にありがとうございました。

本日もうひとつ嬉しい話は、砕氷艦しらせの海上自衛隊の皆様41名に忘年会にご参加頂いたことです。今朝、日豪友好のシンボルであるオレンジ色の巨大な船体がフリーマントルに入港するのを見てあらためて感銘を受けました。小松崎日本クラブ会長他しらせサポーターの方々とお出迎えをしました。厳しいコロナ対策を乗り越えた5年ぶりの西豪州日本人会忘年会ご参加を心より歓迎申し上げます。

昨年は50周年ラッシュでした。パース・鹿児島姉妹都市締結50周年を記念して両市長の相互訪問が行われ、両市長と一緒に「おはら節」と「パース音頭」を踊りました。東急が開発するヤンチェップも50年を迎え、いまや美しい街となり、「クリーン・グリーン・サステイナブル・シティ」への共感と鉄道延伸の実現でさらなる発展を続けてます。

西豪州・豪日協会の50周年式典も行われ、連邦議会でも報告されました。同協会が運営する日本文化教育センター(旧兵庫センター、JECWA)にも日本企業等から多大なご支援を賜りましてありがとうございました。西豪州における特別な友好関係が、幅広い草の根レベルでの人的関係と交流活動により長く支えられて来たことにご配慮を頂き、この場をお借りして御礼申し上げます。

このように、今年は先人達の長年の努力に感謝しつつ、次の半世紀へ日豪友好の決意を新たにする良い機会となったかと思えます。

今に目を向けてみますと、厳しさと不透明さを増す国際情勢のなか、日本と豪州の連携の重要性は一層高まっています。そのような中で、西豪州には、安全保障、資源エネルギー安定供給、重要鉱物や脱炭素、宇宙分野等のイノベーション等、日豪関係の重要部分が集まっています。かかる中で来年は豪フリゲート艦計画、新規ガス田開発等を含め重要な年となります。日豪経済会議が17年ぶりにパースで開催される本年は大きなチャンスですので、しっかりと風を掴んで着実に進展して行きたいと思えます。

人的交流面では、日本人会の皆様のリーダーシップにより、ラグビー、ホッケー、サッカーと、日本でトップの選手たちと交流する貴重な機会を設定頂きました、子供たちの人生において忘れることのないパースの思い出の輝きになったと思えます。あらためて中尾会長、布川副会長、清水さんはじめ関係者のご尽力に感謝申し上げます。

来年は、西豪州における「日本の年」となります。これをどのように盛り上げ、西豪州の日本コミュニティ、日豪関係に活かしていくかにつき、アイデアや人的つながりを駆使して皆様と一緒に盛り上げていければと思えます。

それでは西豪州日本人会の皆様のご健勝と更なる発展を願いまして乾杯したいと思います。ご唱和下さい。

乾杯。